

関東膳所高同窓会

同級生、先輩、後輩をお誘いください。

のご案内



ご案内

- 日時 : 平成23年11月2日(水)午後7時00分～9時15分
当日は混み合いますので、なるべく事前に参加費の振込をお願いします
- 司会・スピーチ : 斎藤一平さん(平成8年卒)
- ビデオメッセージ : 野村正育さん、矢島卓郎さん
- バイオリン演奏 : 松山昭子さん
- 申込締切 : 10月18日必着でお願いします
- 定員 : 300名(定員になり次第締め切らせていただきます)
- 会場 : グランドアーク半蔵門(運営は帝国ホテル) 4階富士東
- 参加費 : 10,000円(学生5,000円)
当日のご出欠を同封のハガキでご連絡ください
- 振込先 : 三井住友銀行 牛久支店 普通4268060
(ウシク) (ヨン・ニ・ロク・ハチ・ゼロ・ロク・ゼロ)

関東膳所高同窓会 幹事長 西川芳彦



斎藤 一平さん(さいとういっぺい)さん
(平成8年卒)

【プロフィール】俳優。TBS ガチンコ『ファイトクラブ』2期生として映像デビュー。本年9月20日から上映するボクシング映画『タナトス』久保田役テレビ朝日、木曜21時『陽はまた昇る』1話 柳本巡査役として活躍中



松山 昭子(まつやま あきこ)さん
(昭和41年卒)

【プロフィール】バイオリニスト(コンサートマスター)。岐阜大学教育学部音楽科を卒業後、京都市交響楽団を経て渡米。帰国後は、奈良 YMCA 管弦楽団ソロ奏者を経て千葉市若葉シンフォニーで活躍。平成16年ドイツでの宮殿コンサートに出演。



野村 正育(のむら まさいく)さん
(昭和55年卒)

【プロフィール】NHKアナウンサー。1962年大津市生まれ。膳所高校卒業。京都大学法学部卒業。同大学院修了。1986年NHK入局。



矢島 卓郎(やじま たくろう)さん
(平成14年卒)

【プロフィール】Jリーガー。滋賀県出身で川崎フロンターレ所属のプロサッカー選手。ポジションは(フォワード)。膳所高校から早稲田大学へサッカー推薦ではなく一般入試で進学した。

時を経て、有志が集う

東の地



滋賀県立膳所高等学校



● スケジュール

18:30~	受付
19:00~21:15	校長、会長、来賓あいさつ 会食(立食バイキング) (着席用の椅子あり) 斉藤一平さんスピーチ 野村正育さんと矢島卓郎さんの ビデオメッセージ 松山昭子さんバイオリン演奏 校歌斉唱

● グランドアーク半蔵門



- 地下鉄半蔵門線「半蔵門駅」1番出口より徒歩約2分
- 地下鉄有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩約7分
- 東京駅よりタクシーにて約10分

〒102-0092 東京都千代田区隼町1-1
0800-100-1139
03-3288-0111(代表)

● 関東膳所高会役員

- 会長 長崎 和夫 (昭和37年卒)
- 顧問 清水 健至 (昭和26年卒)
- 幹事長(問合わせ先) 西川 芳彦 (昭和52年卒) (090-8874-2719)
- 幹事(問合わせ先) 東 清信 (昭和48年卒) (080-3135-0788)
- 清水 玲子 (昭和49年卒) (090-2145-7973)
- 野村 正育 (昭和55年卒)
- 前田 久永 (昭和55年卒)
- 高見 加奈 (昭和60年卒)
- 長谷川 紘之 (平成7年卒) (090-1547-1951)
- 学生幹事 西村 亘平 (平成19年卒)
- 菅沼 伸陽 (平成21年卒)
- 澤田 彩香 (平成21年卒)
- 高橋 涉 (平成22年卒) (090-8215-2009)
- 関東膳所高会事務局 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館8階 滋賀県東京事務所内
(e-mail kantozeze@gmail.com)



上段左から、西川、東、高橋、清水(健)、前田、長谷川
下段左から、高見、澤田、長崎、清水(玲)

※ 若い幹事を募集していますので、是非ご連絡ください。期間限定でも歓迎します。
※ 当日、寄付、商品プレゼントをしていただける方がおられましたら、大歓迎ですので、同封のハガキまたは電話で幹事までご連絡ください。



御挨拶

会長 長崎 和夫(昭和三十七年卒業)

「国難」という物騒な言葉がすっかり市民権を得てしまいましたが、関東にお住いの膳所高同窓生の皆様は3・11以降をどのように過ごされましたか。身辺に被災者が、という方もいらっしゃるかも知れませんが、直接的な被害を受けなくても関東在住者は節電と放射能汚染にさいなまれ続けました。今、被災地の復興を願って人と人の絆の重要性が叫ばれています。マスコミなどで「絆」の文字が目にすることも多くなりました。身を犠牲にして人々を津波から守ろうとした勇者たち、苦しい中でも思いやりと助け合いの心を行動で示す被災者たちの姿が世界中に共感と支援の輪を広げました。ボランティアの活躍も被災地、被災者に心を通わせ絆の大きさを印象付けました。

そんな光景を目にしながらわれわれが身近なところで「絆」を確固たるものにするため思いついたことがあります。仕事仲間など極く狭い世界でしか「絆」が得られない現在、自らの原点である青春時代を思い出して往時の絆を取り戻す、というのがどうでしょうか。少し先ですが11月2日に関東膳所高同窓会を開催する運びとなりました。昨年は清水健至前会長のご尽力により8年ぶりの開催で260人もが出席する大盛会でした。秋の一夕を共にして久闊を叙すのも興でしょう。入学、卒業年次は問いません。奮ってご参加を。

再発足して半世紀の関東同窓会

清水 健至(昭和二六年卒業)

関東同窓会は約半世紀前の昭和33年に再発足し、私も出席しましたが、当時約50名の出席者の中で大半が40歳以上、学生など若い人が数名でした。同窓会である以上、若い学生や社会人が参加されることが同窓会発展に最も大切なことと思われ、幹事にも申し上げたら、「是非若い君も幹事になって協力してくれ」といわれました。早速、学校の本部同窓会と交渉し、関東在住の方を再チェックして会報と同窓会通知を出しました。

この年の同窓会は100名以上の方が集まり、学生や若い方も多く大変盛大であったことを記憶しています。その後、会報も毎年出し、同窓会も盛大に行い、校長や同窓会長も来賓していただきますが、若い学生や社会人の多いのに驚いています。私も、幹事、幹事長、会長を歴任し、皆様と語り合える場として楽しんできました。

近年、幹事長不在で数年間開催できませんでした。だが、幹事長の西川さんをはじめ幹事の方々の努力で昨年の同窓会は260余人の盛大な会でした。新会長、幹事長のもと更なる発展を祈っています。

たかが同窓会、されど同窓会

東 清信(昭和四八年卒業)

久しぶりに中学校や高校の同級生に会うのはうれしいものだ。同様にふるさとを離れた者にとって、同郷の人との出合いは、懐かしく、つかの間だが里帰りしたような気分になるものだ。

しかし、その同窓会や県人会を定期的に開催するのは、なかなか手間のかかることだ。現住所の把握や会の開催のお知らせ、出欠確認、会費の徴収や精算などなど。ましてや、会報の発行や県人会としての独自の事業展開となると、並大抵のことではない。

現在、東京地区「首都圏」には、関東膳所高を始め、金亀会「彦根東高校」や姉水会「虎姫高校」など、滋賀県内の主な高校の同窓会と(社)東京滋賀県人会や埼玉滋賀県人会などの県人会の組織があり、それなりに活動している。

しかしながら、どの組織も、その運営にあたって、役員・幹事の負担が大きく大変な上に、若い世代の参加が少なく、どこも老人クラブになりつつある。

昔の友達には会いたい、自ら幹事はしたくない、あるいは毎年開催するのも面倒だし、しかも新鮮味が無い。こんな気持ちはよくわかるし、かつて私もそうだったかもしれない。

私が、同窓生や県人のつながりをこれほどありがたいと思つたのも、40歳を過ぎて、あるいは東京に来てからかもしれない。それほど人の絆やネットワークの大切さを痛感している今日この頃である。

同窓会や県人会の運営は、みんなボランティアで、しかもかなり面倒くさい。でも、それが人生の糧となることを信じて、若い人も、今まで参加しなかつた人も、まずは参加、そして余裕ができた何年かに1度は幹事を引き受けたり、自分のできる範囲で、みんなが一緒になつて同窓会や県人会を盛り上げていこうではありませんか。ひとりぼっちの寂しい人生にならないために!

三月十一日

清水 玲子(昭和四九年卒業)

東京は地震が多いな、と思つたのが上京しての頃、40年近く前のことである。滋賀ではあまり地震の覚えがない。そして、長く東海地震が懸念されながら、あの阪神大震災が起つた。天災は場所を選ばない。犠牲者の多さに胸が痛みつ、だが漠然と私が生きていた間は日本ではもうこれ以上の天変地異はないだろうと思つてた。

ところが、である。3月11日、その規模を遥かに凌駕する東日本大震災が起きてしまった。

東京でもかなりの揺れを感じたが、テレビに映し出された大津波には心底驚愕した。先進国の自信も誇りも押し流してしまふような大津波。嘘であつてほしいと叶わぬ願いを何度唱えたことか。原発事故も目の当たりにして、人は自然に対して如何に謙虚であるべきかを改めて痛感させられた。

犠牲になられた多くの方々のご冥福を祈るとともに、被災地の一日も早い復興を願うばかりである。

関東同窓会のキーワードは「楽しく」「元気になる」

西川 芳彦(昭和五二年卒業)

前元会長の清水さんとのご縁は、卒業後10年の時3年生で担任していただいた、元校長の南池先生からのご紹介です。外国で日本人と出会うと親しみがあくように、関東では滋賀県人は皆無ですから、なおさら膳所高同窓生や先輩と出会ったときに嬉

「しつたことを覚えています。わざわざ関東に来て
いるからにはそれなりの夢を持っておられる方が多
いのが魅力的です。80年以上の伝統ある関東同窓
会の幹事長の責任には恐れを感じますが、できるだ
け多くの関東の卒業生が関東同窓会の存在意義を
知ってください。参加もしくは応援して下されば大
変ありがたいです。また、関東同窓会をきつかけに
同級生、先輩後輩同上のきずなが深まればすこいで
すね。尚、幹事会も定期的にやっていますので、幹
事と連絡をとって是非遊びに来て下さい。昨年
も約2600通の同窓会案内はすべて幹事が共同
作業で発送し、今年もこの手作業をする予定です。
こんな同窓会をよろしく願います。」

滋賀の名を全国に発信しよう！

前田 久永(昭和五五年卒業)

今年の4月から滋賀県東京事務所配属になり
ました前田です。今回初めて幹事の一人として、会
の運営をお手伝いさせていただきます。

私は昭和55年卒業で、在学中で印象深い出来事
としては、夏の甲子園出場(昭和53年)や全国高
校総体(昭和54年)がありました。また県全体で
は琵琶湖で初の淡水赤潮の発生(昭和52年)をきつ
かけに石けん運動が行われ、条例で合成洗剤の使
用が禁止(昭和54年制定)になったことは、連日
新聞、テレビで報道され滋賀の名前が全国区になっ
たと、何か誇らしい気になった記憶があります。

今回初めて外からわが滋賀県を見るところとなっ
たので、これまでとは違った視点で、改めて滋賀の
PR戦略を練らなければと知恵を絞っているところ
です。関東膳所高会の皆様におかれましては、ふる
さと滋賀を誇りに思いつつ、滋賀のPR戦略につ
いてアイデアをお寄せいただければと思います。

島貫 慶太(昭和六〇年卒業)

現在、楽天の執行役員として、子会社(株)オー
ネットの社長と楽天ウエディングの責任者をやつて
います。オーネットは、「婚活」のお手伝いをする会
社です。年間約7,000名の方々が、結婚され
ています。また、楽天ウエディングは、ゼクシイの楽
天版で、結婚式場探しのお手伝いをするサイトです。

皆さん、結婚したい！、結婚式場を探している
という方を見つけたら、ぜひ私に「ご報告ください。お
手伝いさせていただきます！」

篠原 孝文(平成七年卒業)

皆さん、はじめまして。95年卒の篠原孝文と申
します。大学入学から今に至るまでずっと東京に住
んでおりますので今思えばかわいのですが、実家
が守山ですので入学当時は都会の大津に電車で通
学することが出来る毎日ワクワクしておりました。
高校時代は当時の国立志向の膳所高校の生徒に
は珍しく東京の私立に絞って受験勉強しておりました
ので、当時は若干？浮いていた生徒だったかも
しれません。

そんな私も現在は金融機関でしつかり仕事をして
おります。同級生には成長した姿をお互い確認する
場として、後輩達には自分自身の経験を伝える場
として、また、先輩達にはアドバイスを頂く場所と
して意味あるOB会にしたいと思っております。
皆様、会場でお会いすることを楽しみにしており
ます。

長谷川 紘之(平成七年卒業)

平成7年卒業の長谷川です。大学を卒業してか
らは東京で弁護士をしており、金融法務を中心に
取り扱っています。現在は、その関係で縁があつて、
霞が関の官庁に任期付公務員として勤めておりま
す。

今でも、関東に来ていた膳所高同窓生数人とは、
年に何回か会つており、また、年末に帰省した際に
は他の地域から帰省する友人数人と石山駅近辺で
飲むことにしています(前は居酒屋に入る前に近く
のボーリング場で年一回のボーリングをしてから飲
んでいましたが、いつの間にか閉まつてしまいま
した。)

関東膳所高同窓会には、大学4年生のころに前
会長の清水さんに声をかけていただいたことをきつ
かけに、事務局の一人としてかわらせていただい
ています。

今年も去年と同様、多くの卒業生が旧交を温め、
先輩・後輩から刺激を受け、また、新たな交流のきつ
つ

かけとなる場としていただければと思っております。
皆様にお会いできることを楽しみにしております。

澤田 彩香(平成二二年卒業)
(東京大学工学部航空宇宙工学科三年)

東京大学工学部航空宇宙工学科3年の澤田彩香
です。2009年3月に膳所高校を卒業しました。
1年生のときにちょうど膳所高校が新校舎にかわり、
また特色選抜入試第一期生として入学し、ポ
ート部に所属していました。現在、東京大学の工学部
生を対象にした面白いゼミに参加しています。1月
にヨーロッパで行われる『ラリー・モンテカルロ』と
いう車の格式高いラリーの大会への出場を通して、
「ものづくり×国際化」を目指すプロジェクトです！
30年以上昔の車を自動車整備士学校の学生と協
力して、学生の手でレストアして整備して出場しま
す。マネージメントも学生がやります。慣れない車の
世界で、車の勉強や渉外をして毎日楽しんでいま
す！たくさんの膳所高出身の方と仲良くなりた
い！よろしく願います。

変わらないもの

高橋 涉(平成二二年卒業)
東京大学教養学部二年

先日、帰省の折に久しぶりに剣道班にお邪魔し
ました。私の高校生活の一部だった剣道班でしたが、
私が部長を務めた当時とは大きく変わってしまった
ようです。顧問の先生が交代し、今年の夏でちよ
うど私の知る最後の代の後輩たちが引退しました。
しかし、班員たちが部活終わりに勉強の話をす
る姿や、武道場の正面に掲げられた「文武不岐」の
旗に、膳所高生として、剣道班員としての伝統が
受け継がれていることを感じました。良い伝統は遺
しつつ、常に変化し続ける膳所高の成長を垣間見
た一日だったと思います。

僭越ながら私が伝統ある本同窓会事務局に参加
させていただき早一年、今年から私も関東に後輩を
迎える側になりました。この同窓会が皆様にとつて
の「良い伝統」となるよう、これからも尽力してま
いりたいと思います。